

「今後どのような農業振興が考えられるか みんなで考えるきっかけづくり」

京都府 福知山市農業委員会 上夜久野地区営農推進協議会

1 農業委員会の体制と市町村行政との連携状況

- 農業委員： 20人
- 農地利用最適化推進委員： 30人
- 事務局職員： 4人
- 市町村行政との連携状況： 毎月、10日

「農地農政相談」を開催



2 地区の特徴、状況、課題

福知山市夜久野地域は、東部に東経135度の子午線が通り、東西約10.6km、南北約13.7kmの方形に近い地形で、総面積は約101km²の広がりを持つ。宝山の噴火で形成された約300haの夜久野高原が兵庫県にまたがり広がっている。

3 委員による継続した話し合いの取組内容

- 過疎高齢化が進む山間部において、今後どのような農業振興が考えられるか、他地域事例報告によるヒントの模索と現状把握によりみんなで考えるきっかけづくりを目的に講師を招き、講演会を開催。
- 講演 「農事組合法人上八代営農組合（兵庫県朝来市）」
集落戸数約20戸程度で、将来地域農業をどのように守っていくかを話し合い営農組合を設立し、農地集積協力金や経営転換協力金に取り組み約7haの農地で実施されている。
- 上八代営農組合では、できないプラン作成などは行政にお願いするなど行政との繋がりで現在の取組みが可能

4 成果（京力農場プランの目標実現に向けた取組内容）

- 「農事組合法人上八代営農組合」の講演会を踏まえて、各営農組合長にプラン作成に向けての説明会を実施
【京力農場プラン作成、アンケートの実施 等】
- 白地図を営農組合に配布し、各筆別に経営者、年齢別、後継者の有無の色塗りを各営農組合に依頼
- 営農組合から提出いただいた結果をもとに上夜久野地区営農推進協議会でプランを作成することとなった

※事例候補（地区連絡会議の単位が望ましい）の選定や作成にあたっては、農業会議の現地推進役と相談してください